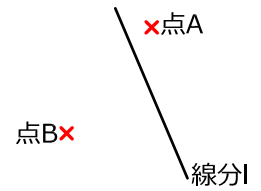


例題

直線 l 上に中心があり、
点Aと点Bを通る円を作図してください。



Hanabusa Facility Desing Office Ltd.

解答例**コマンドを使って作図**

<円の通過点A,B間に線分を描く>

コマンド：[作成] ⇒ [線分]

1点目を指定：一方の点までカーソルを移動してクリックします。

次の点を指定：他方の点までカーソルを移動してクリックします。

線分ABとします。 ①

[Enter] キーまたは [Esc] キーを押します。

<線分ABの垂直二等分線を描く>

コマンド：[作成] ⇒ [構築線]

オプションの「角度」を使用します。

キーボードから「A」と入力して [Enter] キーを押します。

▽

オプションの「参照」を使用します。

キーボードから「R」と入力して [Enter] キーを押します。

線分オブジェクトを選択：ピクボックスを線分ABに合わせてクリックします。

▽

構築線の角度を入力 <0>：

キーボードから「90」と入力して [Enter] キーを押します。

通過点を指定：線分ABにカーソルを合わせ（クリックしません）、

[Tab] キーを繰り返し押して、「中点」と表示されたらクリックします。

線分ABの垂直二等分線を描くことができました。 ②

線分mとします。

線分 l と線分mとの交点をCとします。

交点Cが点A、点Bを通過する円の中心となります。

<点A、点Bを通過する円を描く>

コマンド：[作成] ⇒ [円]

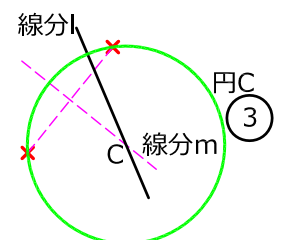
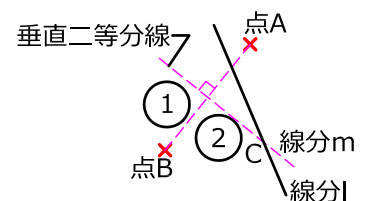
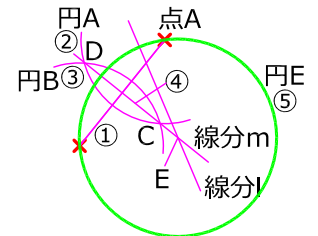
円の中心点を指定：カーソルを交点Cまで移動してクリックします。

円の半径を指定：カーソルを点Aまたは点Bまで移動してクリックします。

円Cとします。 ③

円Cは、線分 l 上の交点Cを中心とし、点Aと点Bを通過する円です。

【作図】



終了